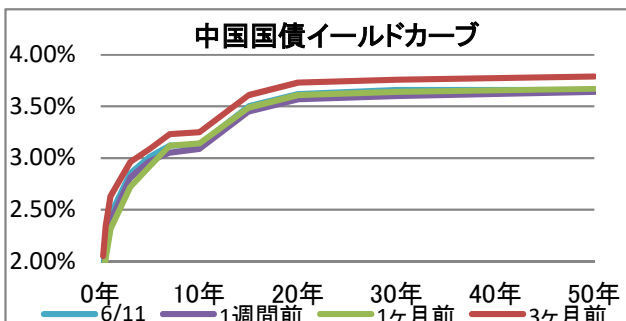
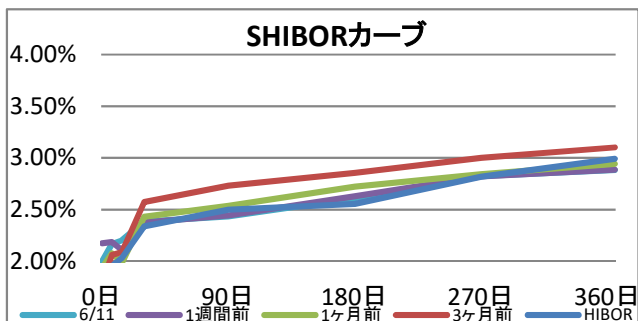


## ①市場概況

基準レート		2021/6/11	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3856	-0.0216
	JPY/CNY	5.8370	0.0271
SHIBOR	3M	2.4340%	-0.0100%
国債利回り	10年	3.13%	+0.04%
上海総合指数		3,589.75	-2.09



### (1) 概況

週末にG7を控え、インフレ指標への注目が集まる中、米CPIは2008年以来の高水準となったもののインフレ率上昇は前年の反動による一時的な現象との見方が支配的となり、ECBが金融政策維持を決め、翌週にFOMCを控えていることもあって、株式、債券ともに堅調に推移している。

中国金融市場でも、物価指標が2008年以来の伸びとなったものの、PPIにおける企業購買価格の上昇による企業業績への懸念が高まり、株式市場は高値警戒感もあって上値が重く、債券利回りも上昇し、ドル人民元は金利差を映じて元高に戻している。中国発展改革委員会は、民生商品価格統制意見を発出してインフレ抑制への姿勢を示している。

上海での陸家嘴フォーラムが今年は「世界的な大変革期における中国金融改革と開放」と題して開催され、金融当局トップが相次いで発言し、不良債権やシャドウバンキング等の金融リスクに対処し、引き続き金利や外為市場の改革を推進し、グレーターベイエリアや上海での外為管理の試験的開放の水準を高め、国内投資家の海外投資規模の拡大を進める方針等が示された。また、銀保監会は銀行保険機関ガバナンス準則と銀行保険回復破綻処理計画（いわゆる生前遺言）法を施行し、監督管理体制を一段と強化している。

### (2) 金融市場調節

リバースオペ期日500億元に対し、3月から続く中国人民銀行のリバースオペによる日々100億元の資金供給に加え、700億元の中央国庫現金管理商業銀行定期預金を実行し、ネットで700億元が供給されている。

### (3) 主な経済指標

・CPI (5月) は、前年比+1.3% (4月、+0.9%) と豚肉価格の下落を主因として食品価格が低い伸びに止まる一方で、燃料等の資源関連の価格の上昇を背景に小幅上昇。

・PPI (5月) は、前年比+9.0% (4月、+6.8%) と燃料や鉄鉱石等の資源価格上昇により大幅上昇。また、企業の購入価格が出庫価格を上回る上昇となっていることから企業業績への影響が懸念される状況となっている。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9980%	2.2300%	2.2000%	
1W	2.1690%	2.2000%	2.6000%	1.8000%
2W	2.2020%	2.3000%	7.0000%	1.8200%
1M	2.3840%	2.6000%	2.7000%	2.4000%
3M	2.4340%	3.8000%	2.5500%	2.4300%
6M	2.6100%	2.9600%		2.5700%
9M	2.8240%			2.8100%
12M	2.8830%	3.9100%		2.8700%

月上旬ながら四半期末要因も意識されてややタイトな状況となったものの、中国人民銀行の市場調節に変化はなく、足下の金利水準は高めに推移し、ターム物の出合いも限定的となったが、SHIBORの水準は小幅ながら低下している。ターム物の出合いは1ヶ月が2.40%前後で取引されているのを除き限定的。

NCDも、金利低下余地が限定的な中で足下金利が上昇する状況ながらほぼ全ての期間で活発に取引されており、金利水準は低位で安定している。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.40%前後、3ヶ月物が2.43%、6ヶ月が2.58%、1年が2.88%前後で取引されている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.05%
1M	0.08%	0.12%
3M	0.20%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.40%	0.45%

四半期末が近づいていることや予定されている外貨預金準備率引き上げに加えて人民元高が一服していること等から、足下の資金需給がややタイトな状況に変化しないものの、ターム物の金利水準に変化はなく、その金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.25%、6ヶ月が0.30%前後と引き続き低水準に止まっている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.91%	2.13%	2.41%	2.62%	3.11%
6M	2.16%	2.38%	2.58%	2.75%	3.24%
1Y	2.45%	2.52%	2.87%	2.98%	3.47%
3Y	2.85%	3.02%	3.22%	3.43%	4.05%
5Y	3.01%	3.21%	3.53%	3.66%	4.47%
10Y	3.13%	3.43%	3.89%	3.98%	4.80%

債券市場では、四半期末を控えていることや短期資金の需給タイト化に加えてインフレ懸念等もあって、前週の下げ止まりから上昇に転じる展開となった。

イールドカーブは、全体的に上方にシフトする中で相対的に短期の上昇幅が大きかったことからベアフラットニングの状況に戻り、クレジットスプレッドは国債利回りの上昇を主因に縮小に転じている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	25.0 / 26.0
1M	124.0 / 126.5
3M	380.0 / 385.0
6M	780.0 / 785.0
9M	1150.0 / 1155.0
12M	1575.0 / 1585.0

対ドル基準レートは、6.3856と前週末比-216pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8370と同+271pipsの円高元安に設定されている。国内市場では米中のインフレ指標を見極めたいとの姿勢から6.40以下での小動きが続き、米CPIが早期の金融引き締めを懸念するほどではなく米国債利回りが低下したこともあって、週末にかけて元高傾向が強まったものの上昇幅は限定的。

先物は、米国債利回りの低下や元高期待による国外からの投資資金流入もあってスワップ幅は拡大しており、1年物は1500台後半に戻している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.37%		2.10%
6M	2.44%	2.61%	2.13%
9M	2.50%	2.74%	2.16%
1Y	2.54%	2.83%	2.21%
3Y	2.78%	3.19%	2.42%
5Y	2.96%	3.44%	
7Y	3.10%	3.61%	
10Y	3.24%	3.77%	

債券利回りの上昇によりスワップ金利も小幅ながら上昇を続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、国債利回りの上昇幅が相対的に大きかったことから総じて縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。